ホンダ フリード／フリード+（DBA-GB#系,6BA-GB#系,5BA-GB#系）

■該当車両

車両型式	排気量（cc）	エンジン型式	仕様	バッテリー型式
DBA-GB5	1500	L15B	アイドルストップ付き	N-65
DBA-GB6	1500	L15B	アイドルストップ付き、4WD	N-65
6BA-GB5	1500	L15B	アイドルストップ付き	N-65
6BA-GB6	1500	L15B	アイドルストップ付き、4WD	N-65
5BA-GB5	1500	L15B	アイドルストップ付き	N-65
5BA-GB6	1500	L15B	アイドルストップ付き、4WD	N-65

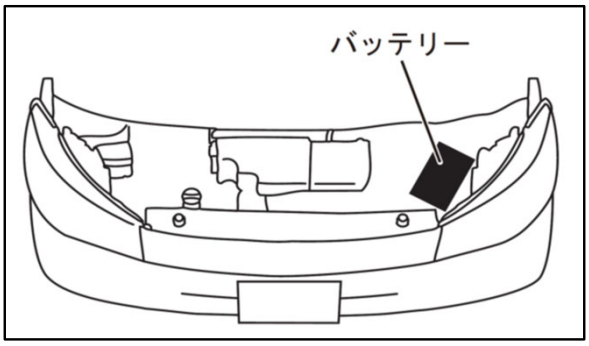
■バッテリー交換

【作業前の注意】

- バッテリーターミナルを外す際、こじらないでください。
- バックアップ電源を接続しない状態でバッテリーターミナルを外すと、メーター・時計・オーディオなどのメモリーが消去されるので、事前に各システムのメモリー内容および設定を確認しておいてください。
- バックアップ電源を接続しない状態でのバッテリーターミナルの脱着時には、設定作業（初期化作業）の必要となるシステムがあります。確実に実施してください。

【バッテリーの搭載位置】

バッテリーはエンジンルーム内の下記位置に搭載されています。



【交換作業】

バッテリーを交換するときは、以下の手順で行ってください。

① IGスイッチおよびライティングスイッチをOFFにする
② マイナスターミナルを固定しているナットを緩めて外す
③ プラスターミナルのカバーを開け、プラスターミナルを固定しているナットを緩めて外す
④ バッテリーを固定している金具を外す
⑤ バックアップ電源をバッテリーの配線に繋げる
⑥ バックアップ電源が外れないように注意しながら、バッテリーからターミナルを外す
⑦ バッテリー を取り外し、新品のバッテリーに交換する
⑧ 上記の②～⑥を逆の手順でバッテリーを取り付ける

プラスターミナル固定ナットの締め付けトルク
4.0N･m ～ 10.0N･m

マイナスターミナル固定ナットの締め付けトルク
2.9N･m ～ 5.9N･m

※初期化作業については次のページ

■初期化作業

バックアップ電源を使用してバッテリー交換しても、以下の作業が必要です。

1. **バッテリー内部抵抗値のリセット**

・ バッテリーの内部抵抗値によりバッテリーの劣化を判定します。
・ ECUに更新・記録された内部抵抗値は、バッテリーターミナルの切り離しおよびECUのリセットを行っても消去されません。

① 電気負荷（A/C、ヘッドライト等）をすべてOFFにする
② IGスイッチをOFFにする
③ IGスイッチをACCにする
④ IGスイッチをONにする
⑤ エンジンを始動し、アイドリング状態を1分間保持する
⑥ IGスイッチをOFFにする
⑦ 上記の③～⑥を4回以上繰り返す
参考：
IGスイッチをOFFからすぐにONに切りかえてエンジンを始動した場合、バッテリー内部抵抗値が更新されない場合がある。IGスイッチの切りかえは、ゆっくりと行うこと
⑧ IGスイッチをOFFにする
⑨ 運転席右側にあるデータリンクカプラにHDSを接続する
⑩ IGスイッチをONにする
⑪ HDSでPGM-FIシステムの[データリスト]を選択し、[アイドルストップ禁止(バッテリ劣化)]の項目でバッテリーの状態を確認する
・「正常」の場合は、バッテリー内部抵抗値のリセット完了
・「禁止」の場合は、バッテリーを交換し、再度バッテリー内部抵抗値のリセットを行う
⑫ IGスイッチをOFFにする
⑬ データリンクカプラからHDSを取外す
参考：
「HDS」とは、本田技研工業のメーカー製故障診断器です。

バッテリー交換時にバックアップ電源無しで作業したり、作業の途中でバックアップ電源が外れたりした場合、以下の作業が必要です。

1. **メーター・時計・オーディオなどの再設定**
バッテリー交換前に確認した内容に再設定してください。